

# 第2回在宅ケア実践セミナー グループワーク結果

# 希望を叶えるためにどうしますか？ 必要な自助具と福祉用具？（入浴）

## Aグループ

- 浴槽の中に入れるリフトをレンタルする
- シャワーチェア、浴槽内いす、浴槽内すべり止めマットの購入
- 訪問入浴・訪問看護利用の検討

## Bグループ

- 浴槽に座れる関節可動域の確認
- 浴槽内いすの使用

## Cグループ

- 介護者のサポートを受ける（家族・ヘルパー・訪問看護師）
- お風呂に緊急通報ボタンをつける
- バスボード・シャワーチェアの購入

## Dグループ

- 風呂場の確認(バスボード、いす、衣服の工夫、浴槽台、シャワーキャリー)
- 家族の介護力を確認
- ヘルパーや訪問看護の利用を検討

## Eグループ

- どの程度身体的な負担が可能か評価が必要
- 本人が不安なく入浴できるように訪問看護の付き添いで行う、デイサービスでの入浴実施
- 機械浴のようなもので入浴。訪問入浴の利用
- 手すり、バスボード、浴槽内いすとすべり止めマットの購入

## Fグループ

- 手すり、すべり止め、シャワーチェア、バスボード、浴槽内いすの購入。車いすのレンタル
- 訪問看護師による介助

## Gグループ

- 訪問看護の利用。訪問リハビリで評価してから
- ウォーカーケインを使用して移動の負担を軽減する
- 浴槽内いす使用し半身浴
- シャンプーハット、手すり、シャワーチェア、すべり止めマットの使用

## Hグループ

- 入浴に対し不安があるので介助者が必要（ヘルパー、訪問看護師）
- 呼吸リハを行う。浴槽までの移動、動作の評価が必要
- 浴槽台、すべり止めマット、浴槽内マットの購入

## Iグループ

- シャワーチェア、手すり、浴槽台、ループ付きタオル

## Jグループ

- どういう不安があるか確認が必要

- 脱衣所にいすを用意し、浴室にシャワーチェアを準備する
- 訪問看護師が介助して不安の軽減につとめる
- 最初は短時間で入浴する。不安のないように血中酸素濃度のデータを見せたりして安心できるように説明と工夫をしていく
- 半身浴からはじめることも検討

# 希望を叶えるためにどうしますか？ 必要な自助具と福祉用具？（外出）

## Aグループ

- 電動セニアカーの使用
- 車いすをレンタルしてヘルパーの介助で外出
- 外出の際はマスクを着用して人が少ない時間帯に行く
- インターネットショッピングの利用

## Bグループ

- ウォーカーケインを準備
- デイサービスの利用
- 訪問看護師・ヘルパーの付き添い

## Cグループ

- 車いすで買い物する
- 感染のリスクも考えて時間を短めにする

## Dグループ

- 移動手段の検討(介護タクシー、ヘルパー介助、車いすの検討、家族へ協力を依頼、ボランティアの検討)
- 感染予防
- 外出機会のあるデイサービスの利用を勧める

## Eグループ

- 休日に家族と車いすを使用して外出
- シニアカーの使用
- 買い物、レクリエーションが多いデイサービスを利用
- 介護タクシーの利用

## Fグループ

- 電動カート、車いすの利用。事前に理学療法士が評価を行う

## Gグループ

- ウォーカーケインを使用し付き添いをつける
- 玄関などアプローチを確認しスロープなどを検討

## Hグループ

- 外出時の感染対策

## Iグループ

- まずはリハビリによる評価が必要

## Jグループ

- 呼吸法を練習し本人が楽になったと実感できるようにすることが大事
- 買い物コースの検討。どこまでだったら行けそうか少しずつ伸ばしていく



# 希望を叶えるためにどうしますか？ 必要な自助具と福祉用具？（家事）

## Aグループ

- どんな家事がしたいのか希望を聞いていく
- 訪問介護を利用し部分的に手伝ってもらう（本人に食材を切ってもらう、味付けは本人にしてもらう、など）
- 炊飯器クッキングや電子レンジクッキングなどを勧める
- 野菜を切っておいて夕方お嫁さんに調理してもらう

## Bグループ

- レンジでの調理

## Cグループ

- できる家事をPT・OTに評価してもらう。家事を調理に限定する。
- 鍋の扱いが楽なIHで調理を行う

## Dグループ

- 酸素吸入しているため調理器具はIHに変更する必要がある
- 座ったままできる作業をみつける
- 冷蔵庫や電子レンジの高さなどを確認し本人に合わせて環境調整する
- ヘルパーに手伝ってもらう
- 座ったまま洗濯物を干すことができるように物干しの高さを調整する
- ルンバ(ロボット掃除機)の購入

## Eグループ

- 料理:いすに座って調理、IH調理器の使用、火を使わないメニューの考案
- 掃除:クイックルワイパーの使用
- 洗濯:物干し竿を低くする、キャスター付きのかごを使用する

## Fグループ

- 食事の準備や洗濯物をたたむなど可能な範囲での実施
- 携帯型酸素ポンベを用意

## Gグループ

- いすに座ってできる環境を整える
- IH調理器の利用を検討する

## Hグループ

- いすに座ったままできる家事
- 本人の意向も踏まえて野菜切りなど行う
- 洗濯をたたむ
- 蛇口を開けやすいタイプに変更する

## Jグループ

- 本人の希望する家事を聞き出す
- テーブル拭き洗濯物をたたむなどできる範囲のことを行う
- 盛り付けなどお孫さんの見守りなど少しずつ自信を持って行えるようにしていく